

評価基準達成に向けた時間帯別利用者数の目安

- ◆実際のバス利用においては、時間帯毎に利用者数の比重が異なる。（朝のラッシュ時に利用者が多く、昼間や夜間は利用者が少ないなど）
- ◆そのため、現在の路線毎の時間帯別利用者数の比重に基づく、評価基準達成に向けた時間帯別利用者数の目安を以下にお示しする。

（１）如意谷線の評価基準（案）

	評価基準 【１便あたりの利用者数】	時間帯	評価基準達成に向けた 時間帯別利用者数の目安
早急に路線の 見直しを検討	約 5 人/便 (収支率 60%)	朝	約 7 人/便
		昼	約 5 人/便
		夕	約 5 人/便
		夜	約 4 人/便
運行頻度の 減便を検討	約 7 人/便 (収支率 80%)	朝	約 9 人/便
		昼	約 6 人/便
		夕	約 7 人/便
		夜	約 5 人/便
本格運行へ移行	約 8 人/便 (収支率 100%)	朝	約 12 人/便
		昼	約 7 人/便
		夕	約 8 人/便
		夜	約 6 人/便
サービスレベルの 向上を検討	約 17 人/便 (収支率 200%)	朝	約 23 人/便
		昼	約 14 人/便
		夕	約 16 人/便
		夜	約 12 人/便

※如意谷線では、箕面萱野駅～如意谷地域～箕面萱野駅の路線１周の想定運行距離の 1／2 を 1 便として、基準となる利用者数を算出している。

(2) 箕面山麓線の評価基準（案）

	評価基準 【1便あたりの利用者数】	時間帯	評価基準達成に向けた 時間帯別利用者数の目安
早急に路線の 見直しを検討	約 19 人/便 (収支率 60%)	朝	約 21 人/便
		昼	約 20 人/便
		夕	約 16 人/便
		夜	約 10 人/便
運行頻度の 減便を検討	約 25 人/便 (収支率 80%)	朝	約 28 人/便
		昼	約 26 人/便
		夕	約 21 人/便
		夜	約 14 人/便
本格運行へ移行	約 31 人/便 (収支率 100%)	朝	約 35 人/便
		昼	約 32 人/便
		夕	約 27 人/便
		夜	約 17 人/便
サービスレベルの 向上を検討	約 61 人/便 (収支率 200%)	朝	約 69 人/便
		昼	約 64 人/便
		夕	約 42 人/便
		夜	約 33 人/便

※箕面山麓線では、間谷住宅内の北端～箕面駅の想定運行距離を1便として基準となる利用者数を算出している。

※原則として上記基準に基づき評価を行うが、運行エリアが重複する彩都線、北大阪ネオポリス線、栗生団地線、(仮) 栗生・萱野線を含むエリア全体での利用実態に応じて、サービスレベルの調整を行う可能性がある。

（３）小野原東線（箕面船場阪大前經由千里中央行）の評価基準（案）

	評価基準 【１便あたりの利用者数】	時間帯	評価基準達成に向けた 時間帯別利用者数の目安
早急に路線の 見直しを検討	約 13 人/便 (収支率 60%)	朝	約 13 人/便
		昼	—
		夕	約 13 人/便
		夜	—
運行頻度の 減便を検討	約 17 人/便 (収支率 80%)	朝	約 17 人/便
		昼	—
		夕	約 17 人/便
		夜	—
本格運行へ移行	約 22 人/便 (収支率 100%)	朝	約 22 人/便
		昼	—
		夕	約 22 人/便
		夜	—
サービスレベルの 向上を検討	約 43 人/便 (収支率 200%)	朝	約 43 人/便
		昼	—
		夕	約 43 人/便
		夜	—

※小野原東線（箕面船場阪大前經由千里中央行）では、小野原東～（箕面船場阪大前駅）～千里中央の想定運行距離を１便として基準となる利用者数を算出している。

※小野原東線（箕面船場阪大前經由千里中央行）は、朝・夕のラッシュ時のみの設定であるため、上表の目安も朝・夕のラッシュ時のみを記載している。

※原則として上記基準に基づき評価を行うが、運行エリアが重複する（仮）箕面小野原線、栗生団地線、小野原東線（北千里經由千里中央行）を含むエリア全体での利用実態に応じて、サービスレベルの調整を行う可能性がある。

(4) (仮) 箕面小野原線の評価基準 (案)

	評価基準 【1便あたりの利用者数】	時間帯	評価基準達成に向けた 時間帯別利用者数の目安
早急に路線の 見直しを検討	約 25 人/便 (収支率 60%)	朝	約 33 人/便
		昼	約 21 人/便
		夕	約 27 人/便
		夜	約 21 人/便
運行頻度の 減便を検討	約 33 人/便 (収支率 80%)	朝	約 44 人/便
		昼	約 28 人/便
		夕	約 36 人/便
		夜	約 28 人/便
本格運行へ移行	約 41 人/便 (収支率 100%)	朝	約 55 人/便
		昼	約 35 人/便
		夕	約 45 人/便
		夜	約 34 人/便
サービスレベルの 向上を検討	約 81 人/便 (収支率 200%)	朝	約 109 人/便
		昼	約 69 人/便
		夕	約 72 人/便
		夜	約 68 人/便

※ (仮) 箕面小野原線では、小野原東～(箕面船場阪大前駅・箕面萱野駅)～新稲の想定運行距離を1便として基準となる利用者数を算出している。

※原則として上記基準に基づき評価を行うが、運行エリアが重複する箕面中央線、小野原東線(箕面船場阪大前経由千里中央行)を含むエリア全体での利用実態に応じて、サービスレベルの調整を行う可能性がある。